

埼玉県八潮市で発生した大規模な道路陥没を踏まえた 下水道管路の全国特別重点調査の実施について(提言) 【原案】

資料2-2

令和7年3月○日
下水道等に起因する大規模な道路陥没事故を踏まえた
対策検討委員会

1. 全国特別重点調査の実施について

- 令和7年1月28日に埼玉県八潮市で発生した下水道管路の破損に起因すると考えられる道路陥没は、トラックドライバーの方が今も行方不明となっており、約120万人の方々が下水道の使用自粛を求められるなど、重大な事態。
- 国土交通省は、事故発生直後に、事故の陥没箇所と同様の大規模な下水道管路の緊急点検を地方公共団体に要請。ただし、1週間という期間での緊急的な点検のため、その対象箇所や点検方法は限定的であり、十分とは言えない。
- そのため、今回の事故原因の究明はなされていない中であっても、できる限り、今回と同種・同類の事故を未然に防ぎ、国民の安心・安全が得られるよう、今回の事故の事象や下水道、地盤、トンネル等に係る科学的・経験的な知見に基づき、対象を重点化した上で、現状で適用可能な技術を総動員して全国特別重点調査を実施し、調査結果に応じた必要な措置を講ずべき。

2. 調査対象

- 全国特別重点調査の対象は、大規模陥没につながる要素と事故時の影響度の観点から「大口径」で「古い構造」の管路を基本としつつ、調査の実効性を高めるため、これらのうち以下のいずれかに該当する箇所の調査を最優先で実施すべき。
 - ① 埼玉県八潮市の道路陥没現場と類似の箇所
 - ② 腐食しやすい箇所
 - ③ 陥没履歴があり交通への影響が大きい箇所
 - ④ その他

3. 新たな技術的方法の積極導入

- 全国特別重点調査には、従来行われてきた潜行目視やテレビカメラによる目視調査に加えて、打音検査等による定量的な劣化調査や管路内からの地盤空洞調査といった新たな技術的方法を積極的に導入すべき。また、水位が高い等により調査が困難な場合には下水道の使用自粛などについて住民の理解と協力を要請すべき。

4. 調査スケジュール

- 調査の安全確保に最大限留意しつつ、2.に示す最優先で実施すべき箇所は夏頃まで、それ以外の箇所は1年以内をめどとした調査完了を目標とすべき。

5. その他

- 下水道以外の地下管路についても口径や経過年数、道路陥没の発生状況等を踏まえて、必要に応じて各管理者において点検の実施を検討すべき。